

端材活用した新ブランド立ち上げ

東海理化

東海理化は、2022年に端材を活用したアップサイクルブランド「THINK SCRAP」を立ち上げた。

同ブランドは、自動車用シートベルトの端材を活用したハンドバッグやポーチなどの製品開発を行っている。ただごみを減らすことを目的としたものでなく、素材を紹介

て経済を循環させ、クルマへの愛着を育むライフスタイル文化の創造を目指している。シートベルトが持つ強度やしなやかさ、色合いなど素材を最大限に生かした製造方法で、「処理すべき廃棄物」から「価値を生み出す資源」へ意識が変化した。現在では廃棄予定だったシートベルト端材の

約13%を製品として生かしている。

同ブランドの製品は自社ECサイトやポップアップショップなどで販売しているほか、博物館やクルマの展示会、イベントでも販売している。また、学校と連

廃棄予定のシートベルト端材13%を生かす

携し、学生が企画・販売・情報発信にかかわる機会を創出。サステイナブルなものづくりを体験的に伝える場となっている。

廃棄物削減、文化発信、地域経済、教育連携を同時に実現する、持続可能なモデルとして効果を発揮している。



【受賞者コメント】この度はCSP大賞 環境貢献賞をいただき、光栄に思います。

東海理化のアップサイクルブランド「THINK SCRAP」は、世界に誇る技術と安全を支えてきた自動車部品の価値を捨てず、次の役割へつなぐ取り組みです。

シートベルト端材を地域の縫製工場や協力メーカーの皆様と毎日使う道具として製品化し、販売を通じてクルマ文化の魅力を多くの方へ届けてきました。今後も本活動を通じ、循環する社会の実現を目指します。

